

美しい写真！(大竹店展示中)



廿日市港花火大会より



八代(熊本県)花火大会より

大竹市南栄のM様に、四季折々の写真を大竹・廿日市の事務所に飾っていただいております。事務所に定期的に來られる事務器屋さんなど、写真が替わる度に、「今度の写真はどこ?」「きれいじゃねー!」と楽しみにしてくれています。

今、大竹店に飾っていただいているのが左の花火の写真。この写真は特殊な光を反射しない印刷と言うことで、近寄って見るとまるで繊細な絵画のように美しい写真です。左の写真は、作品の写真をデジカメで撮っての印刷ですから、残念ながらそのニュアンスは全く伝わらないかと思っておりますので、ご興味あられる方は、是非鑑賞にお越しください。(啓)

どこを治したか分からない?



床の間に仏間を作成するリフォーム工事で、既存の床框をそのままにすることにしましたが、随分前、娘さんが子供の頃重たい花瓶か何かを落とされて、床框の角が欠けてしまっていました。折角床の間がきれいになるのですから、何とかならないかと思いついたのが、廿日市店で大工をしている川崎君。彼は、これまでもフローリングの傷の補修などの実績があるので、傷の付いた床框を見せて、「何とかならんかね?」と聞けば、「フローリングの補修キットで時間がかかっても良いんだったら、ある程度治せると思う。」とのこと。フローリングの補修キットにはフローリングの表面を補修するためのいくつかの色合いのある樹脂の補修材があり、これを補修する場所の色合いに合わせて熱を加えて成形します。と、言葉で言うのは簡単ですが、経験が無いとなかなか自然な仕上がりは難しいようです。

さて、この現場の仕上がりですが、(修復したところを赤線で囲っています)いかがでしょうか?本当に近寄ってじっと見れば「ここかな?」と言うほど見事に修復してくれました。お施主様も「どこを治したのか全然わからない?」と喜んでいただきました。

床などの傷が気になっている方がおられましたら、お気軽にご相談ください。川崎君が見違えるように治してくれますよ!

<新しいスタッフ紹介>



氏名:津田 篤生 年齢:昭和39年生まれ
趣味:スポーツや映画鑑賞 特技:洗車・掃除

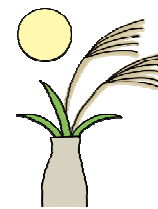
一言:「受けるより与える方が幸福である」の原則を座右の銘に

太田君が退社し人員が一名減となっておりますが、若いころ現場作業に来てくれていた津田君が山口から戻って来たということで、スタッフに加わってもらいました。工務担当としてお邪魔するかと思いましたが、やさしいおじさんですのでよろしくお願ひします。(啓)

「住いの困った」は ゲインアンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は12月頃の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願ひます。送付を停止いたします。



河野



みなさんこんにちは!今年は長雨だった梅雨明けからいきなりの酷暑☀、夜もエアコンなしでは寝れないほどでしたが、皆さんご無事でしょうか?

最近、同輩と話をすると「子供の頃、こんなに暑うなかったよのう」と一様にうなずくのですが、本当にそうか江波山気象館のホームページを見てみると、私が子供の頃(1960年代)には猛暑日と言われる35度以上の日はほとんどありませんでした。そのグラフを見ると、1990年頃から猛暑日の日数が増え始め、一昨年の2018年には28日も記録されていました。何とかぼーか月!地球温暖化が叫ばれて久しいですが、暑くなっていることは間違いないようです。

さて、上の写真は廿日市市晴海公園から撮った宮島からの日の出です。今年の健康診断で加齢とともに血圧が高くなってきており、お医者さんからも「河野さん、そろそろ薬を飲まないといけんよじゃね!」と言われておりました。どうやら運動不足が良くないと一念発起!言うほどではありませんが、以前続けていた早朝ウォーキングを5月から再開。ウォーキングコースの晴海公園を歩くと、沖に浮かぶ宮島が、朝日に映えたり、上の写真のようなオレンジ色の朝焼けなど、日に日に変わる色々な風景を楽しむことができます。写真ではお伝えできませんが、時には息をのむほど美しい風景にも出会え、お陰で携帯電話で写真を撮ることが日課となりました。ただ、日の出の時間がだんだん遅くなるので、歩く時間を遅くするべきか思案中です。それはそれとして、お陰でウォーキング後に測る血圧も、上が150近くだったのが120台まで下がり喜んでおりますが、人に言わせると「夏場じゃけえ低くなるよ!」とのこと。ですので、一年間は続けなくてははいけないようです。

会社の方はコロナ禍の影響で、例年行っている催しなど全くできない状態が続いております。今年は弊社の創業50周年と言う大きな節目の年だけに、何とも歯がゆい思いをしておりますが、コロナ禍が落ち着きましたら再開したいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

私たち社員一同もしっかりと予防対策を行って、皆様と元氣な姿でお会いできることを楽しみにしております。(啓)



夏休みの自由研究みたいな
大竹から見た"朝の宮島"の移ろい



冒頭にご紹介しました朝のウォーキングは連休明けの5月13日より始め、ほぼ毎朝5時ごろスタートして同じコースを約40分程度歩いております。動機は「血圧を下げたい！」ですが、60歳を超え脳卒中の危険性が高まって来てますので、あっさりとしてしまえば身内や会社に迷惑をかけることもその時だけで済むのですが、世話になるようになってしまうと、私だけのことでなくなるので「何かしなくては！」が本音のところですよ。

と、早朝ウォーキングを始め、日々移り変わる宮島の風景を4か月ほど撮り貯めてみましたら、夏休みの自由研究のようにまとめたくなりましたので、お付き合いください。



5月13日
雲一つない青い空に美しい日の出。まるで、小学校の校歌のようで



6月29日
梅雨の雲の間からの光線が後光のように見え、思わず手を合わせました。



7月30日
長かった梅雨が明けての朝。朝から気温はすでに26度越え、歩いて帰ったら汗だくです・・・



6月1日
朝焼けのオレンジがとてもきれいです。オレンジ色に見える理由は厚い空気層を太陽光が通ると、波長の長い"赤～オレンジ"だけ屈折せず見えるからだそうです



7月14日(番外編)
大雨の翌日。新町川河口に錦鯉発見。大雨で上流から下ってきたようで、水面を泳ぐことで、淡水と海水は混ざらないことがわかります。(上部淡水・下部海水)



8月15日
お盆休みですので、少し遅めに歩くと日の出が見えました。夏至に近い6月15日の写真と比べると、日の出の位置が右に寄ったことがわかります。



6月15日
梅雨入り後の日の出。空気中の水蒸気のお陰で太陽が大きく見えます。



7月21日
今回撮り貯めた写真でベスト3に入る写真。海も空もオレンジに染まる美しさに見とれてしまいました。



8月27日
今回のベストショット！宮島から青い空に後光が放たれ、まさに宮島は神の島です。

この原稿を書いているのは9月10日です。益々日の出は遅くなり、5時に外へ出れば真っ暗！仕方がないので帽子にヘッドランプを付けて徘徊者でないことをアピールして歩いております。63歳にもなって恥ずかしながら、改めて瀬戸内海の美しさに気付かされた次第です。〇〇再発見などと言う番組を感心しながら見ていましたが、実は足元にあったんですね！さて、肝心の血圧は120位で安定しておりますが、寒くなってくるとどうなるか・・・。無理せず続けてみます。(啓)

最近の施工事例より

キッチンスペースを明るく開放的にしたい！

今回の施工事例は、独立型のキッチンスペースを、隣接するダイニング・リビングスペースと、明るくて一体感のあるキッチンにリフォームした事例です。施主のK様宅は、昨年、前段として、このキッチンスペースに隣接する洗面所のリフォームにて、洗面所内の洗濯機を階段下に移動したことで、キッチンスペースへの出っ張りが無くなり、スッキリと広くできるようにしておりました。



着工前(リビング側から見た)

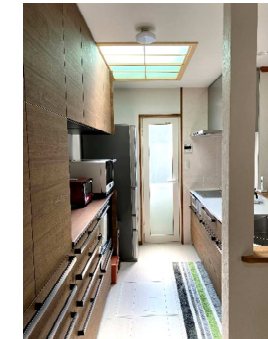
奥様の強いご希望は、収納量もあり、リビングダイニングスペースと一体感のある開放的なキッチンにしたいということでした。左の写真から分かるように、キッチン内はキッチン前はダイニングスペースに向かって開口があるものの、リビングスペースにあるテレビなどは見えず、キッチンに居ると孤立した感じになる事に併せて、冷暖房が効かず、特に冬場のキッチンは寒くて居られないほどになるとの事でした。キッチン部分には勝手口と、採光用の天窓がありますが、非断熱タイプのため冬場の冷気がこの開口部からかなり入ってきたと思われまます。

そこで、左下の写真のように、構造体の柱を残して、腰から上の壁面を全て取り払いキッチン部分を一体化させ開放的なキッチンにし、洗面所からの出っ張りが無くなったので、収納量の多いカウンター付きの食器棚を背面に設置しました。



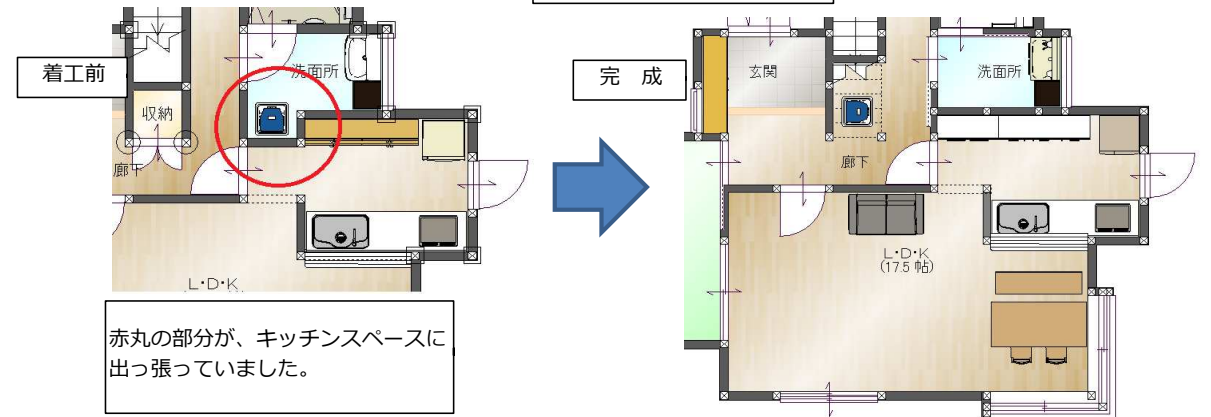
完成

壁を取ったことで、明るく開放的になったキッチンスペース



スッキリと収納量も増え、断熱対策も万全！

寒さ対策として、天窓には天井の高さにガラス障子を取付、勝手口には内側に断熱ドアを取付けました。勿論、ダイニングの出窓やリビングの掃出しにも内付の断熱サッシを取付けたことで、冷暖房効果の高い快適なL・D・Kへと生まれ変わりました。



赤丸の部分が、キッチンスペースに出っ張っていました。

完成後、私もお邪魔して感想をお伺いしたら、奥様はご希望だった開放感や収納量にご満足いただいております。ご主人様は、内窓の断熱サッシを付けたことでエアコンの効きが非常に良くなったことと、外の音が聞こえにくくなったと喜んでいただけました。改めて、リフォームは施工する範囲だけでなく、使い勝手の不満などを広範囲にとらえて計画し、段階的にリフォームすることがポイントだと痛感しました。(啓)